

各地域の村絵図の中から、
わが家の位置を探してみませんか？



都留市博物館「ミュージアム都留」

企画展 『郡内村絵図展』

— 甲州街道から富士みちへ —

ミュージアム都留には、『甲斐国志』編さんにあたって、郡内地域を担当した森島其進のもとに各村々から提出された多くの村絵図が収蔵されています。これらの村絵図から江戸時代の家並や寺社、道、川などの様子を知ることができます。想像力を働かせれば、当時の人々が生活した空間に入りこんだような気分が味わえるかもしれません。

今回の企画展では、※1甲州街道から※2富士みちにかけて郡内を巡ります。茶壺の通った道、富士講信者でにぎわった道です。どこが変わっているのか、どこにまだ江戸時代のなごりが残っているのかなど、現在の道と比べてみませんか。そして、自分の住んでいる所を探してみませんか。きっと見慣れたはずの風景がどこか違って見えることでしょう。



城跡地地割絵図 (現在の市役所周辺)
享保10年(1725)

会 期 3月5日(日)～4月20日(木)

開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)

休 館 日 毎週月曜日

第三火曜日 (ただし、4月18日は開館します)

入館料金 一 般 300円(210円)

高校・大学生 200円(140円)

小・中学生 100円(70円)

()内は、20名以上の団体料金

※1 甲州街道(道中)……
江戸時代に定められた五街道(東海道・中山道・日光道中・奥州道中・甲州道中)の一つで、ほぼ、現在の国道20号線と一致し、開設初期は軍事上の要路とされ、江戸時代中期以降になると、物資輸送の駄馬の通行や旅人でのぎわった。

※2 富士みち……
甲州街道の大月宿で分岐する道で、將軍のお茶を夏の間、勝山城で預かったという茶壺道中の通路でもあり、また、富士山を霊山として信仰する富士講信徒でにぎわった。



浅間神社ならびに富士山絵図
文化3年(1806)



猿橋宿絵図 文化3年(1806)

問合先

都留市博物館

「ミュージアム都留」

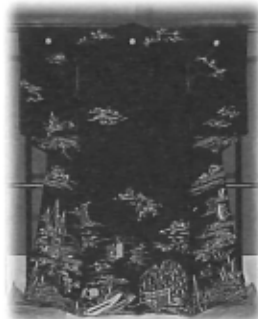
☎(45) 86008
☎(45) 80088



4月28日(金)から5月28日(日)まで開催します。

日本の染織研究家として活躍している山辺館長が、長年収集してきたコレクションの公開です。

染織の歴史、技術、美しさをご堪能ください。



開館一周年記念春季特別展

日本の染織展

— 山辺知行コレクション —

▼次回特別展のお知らせ